

## 宮古・岩泉地区伐木技術普及研修会の実施について

### 1 はじめに

林業は、依然として労働災害の発生頻度が高く、死亡に至る重大な事故が多く発生していることから、現場技術者の安全意識等の向上が急務となっています。

このため、宮古及び岩泉指導区の合同により林業技術者の技能や安全意識の向上に向けた研修会を実施しましたので、その概要を報告します。

### 2 研修内容

令和3年11月11日(木)に宮古市崎山地内において、岩手県伐木技術指導員の畠山辰也氏(株)ふるさと木材)を講師に迎え、実技者5名、見学者7名の計12名の参加により実施しました。

#### (1) チェーンソーの点検・整備

実技者が交代でソーチェーンの目立てを行い、講師から「ヤスリ部分だけでなく全体を見ること。」「自分の癖を知ること。」など安全で効率の良い仕事をするための正しい目立ての必要性をアドバイスしていただきました。



#### (2) チェーンソー伐木技術

伐木実習の前に、講師が3種類の伐木方法を実演し、その後、安全な伐木方法の一つである「2段切り」により実技者一人一人に指導が行われました。

伐木経験が浅い実技者もいましたが、講師の懇切丁寧な指導に真剣に耳を傾けておりました。



### 3 おわりに

研修後のアンケートでは、「理解できた。」「満足した。」との回答が多く寄せられたことから参加者の安全対策に対する意識醸成が図られたと考えています。

参加者には、今回の研修の成果を今後の伐木作業に役立てていただき、労働災害のない安全な職場づくりに取り組まれることを期待します。

